



交通バリアフリー基本構想について

1. 基本構想策定の背景と目的

我が国では、諸外国に例をみないほど急速な高齢化が進行しており、平成27年（2015年）には国民の4人に1人が65歳以上となる本格的な高齢社会を迎えようとしています。また、近年、ノーマライゼーション¹やユニバーサルデザイン²といった考え方が浸透し、すべての人が自立した日常生活や社会参加を行うことができる環境の整備が急務となっています。

このような社会背景の中、高齢者や身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の利便性及び安全性の向上を図るため、平成12年（2000年）11月に「高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律（通称：交通バリアフリー法）」が施行されました。この法律では、一定規模（1日あたりの利用者数が5,000人以上）の鉄道駅などの旅客施設を中心とした地区について、旅客施設や周辺の道路、駅前広場、信号機などのバリアフリー³化を重点的かつ一体的に推進するため、市町村が基本構想を作成することができるようになっていきます。

三原市では、近年、高齢化率⁴が急激に上昇しており、平成12年（2000年）の国勢調査によると、22.3%（全国平均17.3%）と高く、超高齢社会を迎えてバリアフリー化への対応が急務となっています。

三原市内には、4つの鉄道駅と5つの港湾旅客施設が立地しており、このうち交通バリアフリー法の対象となる旅客施設はJR三原駅（1日あたり利用者数14,874人）が該当します。当駅はJR山陽本線と呉線の乗換え駅であるとともに、JR山陽新幹線の停車駅でもあり、本市のみならず、周辺の各都市を含めた広域的な交通拠点としての役割を担っており、早急なバリアフリー化が必要です。

本基本構想は、上記の背景を踏まえ、市民、事業者⁵、行政の連携のもと、JR三原駅及びその周辺地区において、本市の玄関口としてふさわしいバリアフリーのまちづくりを行うために策定したものです。また、本基本構想の目標や施策の基本的な考え方は、市全域においても適用させることとします。

1 ノーマライゼーション

障害をもつ人も、もたない人も、社会の一員として、お互いに尊重し支え合いながら、地域の中でともに生活できる社会を実現する考え方。

2 ユニバーサルデザイン

年齢や性別、身体的能力など人々の様々な特性や違いを超えて、すべての人が利用しやすいまちづくりやものづくり、しくみづくりを行う考え方。

3 バリアフリー

高齢者や障害者の方が生活するうえで行動の妨げとなる障壁（バリア）を除去すること。

4 高齢化率

総人口に占める65歳以上の人口比率のこと。

5 事業者

基本構想に沿って事業計画を作成し、バリアフリー化の事業を実施する公共交通事業者や道路管理者、公安委員会など。

2. 交通バリアフリー法の概要

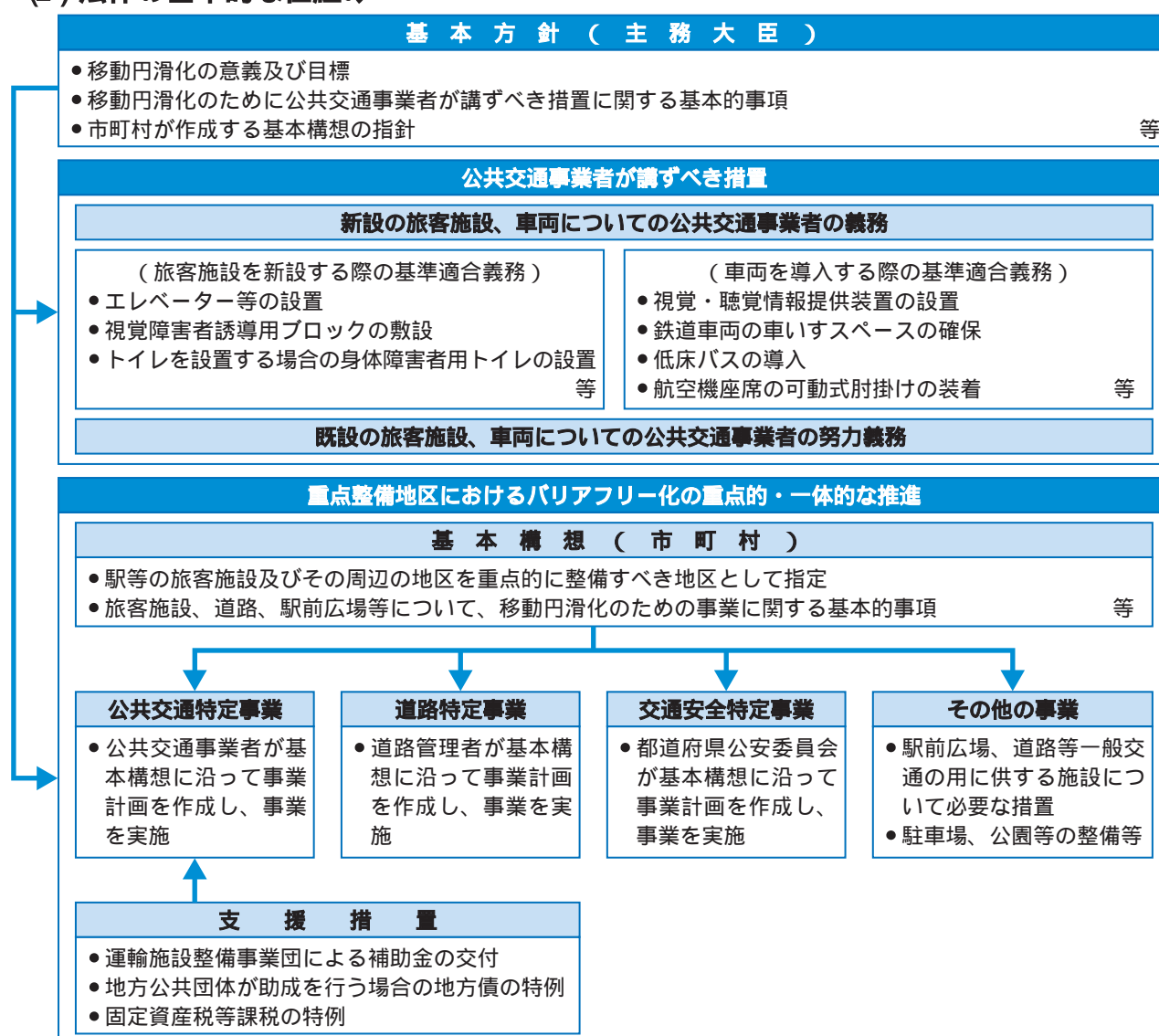
(1) 法律の趣旨

交通バリアフリー法は、高齢者や身体障害者の方をはじめ妊産婦やけが人の方等、身体機能面で日常生活や社会生活に影響を受ける人の公共交通機関を利用した移動の利便性及び安全性の向上を促進するために、大きく次の2点が定められています。

新設する鉄道駅やバスターミナル、旅客船ターミナル等の旅客施設、及び鉄道車両やバス、旅客船等について、公共交通事業者によるバリアフリー化を推進する。

鉄道駅等の旅客施設を中心とした一定の地区において、市町村が作成する基本構想に基づき、旅客施設、周辺の道路、駅前広場等のバリアフリー化を重点的・一体的に推進する。

(2) 法律の基本的な仕組み



（注）市町村が基本構想を作成することができる「特定旅客施設」は、次のいずれかの条件をみたす旅客施設です。

1日の利用者数が5,000人以上の旅客施設

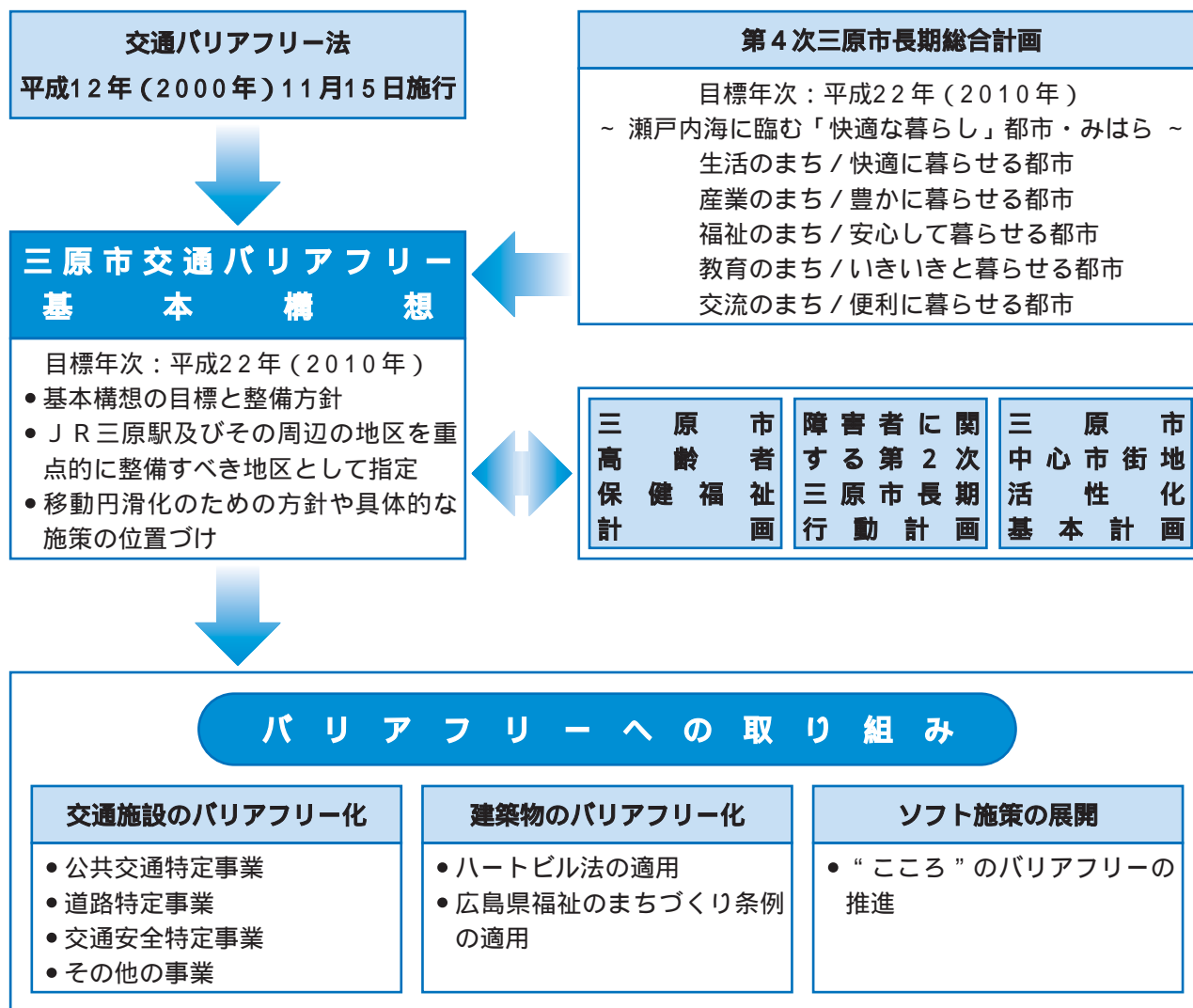
当該市町村の高齢化率等の地域の実情からみて、高齢者、身体障害者の利用者数が の旅客施設と同程度と認められる旅客施設

その他、徒歩圏内に当該旅客施設を利用する相当数の高齢者、身体障害者が利用する施設が存在し、当該旅客施設の利用状況から、移動円滑化事業を優先的に実施する必要が特に高いと認められる施設

3. 三原市における基本構想の位置づけ

本基本構想は、交通バリアフリー法に基づき策定するものですが、バリアフリーの考え方を全ての市民に理解してもらい、その協力のもとで実施していく考えから、三原市内で生活するすべての方を対象にバリアフリーの目標及び施策を検討します。そして、第4次三原市長期総合計画の基本理念や将来像、また関連する各推進計画との整合を図りながら、具体的な施策を明らかにします。

【 基本構想の位置づけ 】



4. 基本構想の期間

基本構想の目標年次は、平成22年(2010年)とします。